

## 営農指導員の ワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 謙

冬に畑を耕して  
土作りをしましょう！

寒い冬に作業を行うのは、面倒と感じる人も多いと思います。しかし、冬に畑を耕すことにはしっかりと理由があります。この時期にしかできないことでもあるので、しっかりと畑を耕しましょう。

### 冬は畑を耕す絶好のチャンス

冬に畑を耕す理由は、越冬野菜などを除けば、この時期に野菜の栽培をしていないことが多く、広い面積を耕すことができるからです。

それに加え、耕した土を冬の寒い風にさらすことで、土に良質な酸素を補給することができます。そして、春になり暖かくなるころ、種まきや定植をする際に、土が理想的な状態になります。

また、寒い時期に畑を耕すことで病害虫の対策もできます。冬の厳しい寒気により、耕した土が風化し、害虫や病原菌、さらに雑草などの密度を下げるができます。

### 上手な畑の耕し方

より上質な土を作るために、次の順番で作業を行いましょ。

- ①畑全体に、完熟堆肥を1アール当たり200キログラム程度散布します。
- ②畑全体に、苦土石灰を1アール当たり15キログラム程度散布します。
- ③20〜30センチの深さで、丁寧に耕します。
- ④耕し終わったら土の表面の凹凸をそのままにして、寒気にさらし、土の風化を促進します。

### まとめ

この作業をすることで、土壌の環境が整い、立派な野菜ができるでしょう。

野菜を作るには、栄養がある土壌が必要不可欠です。

寒い冬に土壌を改善することで、害虫や病原菌などの対策にもつながりますので、ぜひ、ことの冬から試してみてください。



### 問い合わせ

農業振興課 農業振興係

☎0824・73・1131

## 庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



高野町での暮らしを楽しんでいる  
井上 祥さん

高野町で介護士として働く井上さんの、楽しんでいることやこれからの目標について話を聞きました。

### 庄原で暮らす

私は、広島市で生まれ育ちましたが、17歳の時に母の実家がある庄原市に引っ越してきました。引っ越した当初は、都会からの環境の変化にとても驚きましたが、すぐに慣れ庄原での生活を楽しむことができました。それから結婚し、家族で妻の実家がある高野町に住み始めたのが、今から7年前です。

高野町では、私と同様に町外から転入した男性が多く、悩みや相談にも気軽に乗ってくれて、とてもいい環境で暮らせています。

### 介護士として働く

私は祖母ととても仲が良かったの

で、仕事も高齢の人に関わる仕事をしたいと思っていました。介護士の仕事は地域の高齢の人とたくさん話もできるし、地域を知ることでもできるため、自分には本に向いている職業だと思っています。デイサービスを利用する人にも自分を知ってもらえましたし、皆さんに育ててもらいながら仕事ができます。

### 子どもたちと一緒に野球を

幼い頃からずっと野球をやっていたので、野球を通して子どもたちに関わりたいと思います。ことしから地域の少年野球チームのコーチをしています。子どもたちの成長速度はとも早く、いつも驚かされています。自分にとっても良い刺激になっています。

### 米づくりにチャレンジ

我が家の米は、近所の人に頼んで作ってもらっていましたが、自分で作ってみたいと思います。地域の人から米の作り方を習いました。水の張り方や農機具の操作方法などを一から教えてもらったので、いつかは米作りに挑戦したいと思っています。

### 問い合わせ

自治定住課定住推進係

☎0824・73・1257